

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

＜圏域内の市町が抱える地域課題や大学・高校等に期待する取組＞

区分	テーマ	地域課題の概要
⑥観光資源の共同開発・PR	体験型修学旅行の受入拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・単独市町で体験から宿泊まで受け入れることが困難であるため、複数市町で連携して受け入れるツアーを造成していく必要がある。 ・圏域内の豊富な地域資源を生かした、広島広域都市圏ならではの体験プログラムを新たに開発していく必要がある。 ・民泊を受け入れている地域では、高齢化等による受入先の減少が課題となっている。

市町名	大学・高校等に期待する取組
竹原市	生徒・学生の方々の目線で、市内の教育旅行に適したコンテンツの発掘及び既存の資源の更なるブラッシュアップを行っていただきたい。
三次市	農家民宿を運営する事業者は高齢化が進み、受入が困難になりつつある現状がある。体験型修学旅行の受入を積極的には行っていないが、体験と宿泊をセットにしたプログラムの開発は引き続き行っていくことを考えている。造成したプログラムの評価を行うためのモニターツアーへの参加や、顧客として大学生を受け入れたいため、周知などに協力していただきたい。
江田島市	本市にしかない宿泊を含めた体験メニューを学生・生徒の視点から造成していただきたい。若者が「体験したい」と思えるような民泊の魅力発掘やPR方法を検討していただきたい。
安芸太田町	当町の体験型修学旅行受入において、人口減少、高齢化等による民泊受入先の減少は、長年の課題であり、民泊を伴う受入者数の拡大は困難となっている。そのため、民泊を伴わない日帰り体験者の拡大を強化し、当町ならではの自然資源等を生かした体験プログラムやSDGsプログラムの開発を検討していただきたい。
世羅町	広島市内の大学生等による修学旅行生のアテンド対応を、広島市内から遠方の自治体においても実施する取組について検討していただきたい。
岩国市	交流人口の増加につながるような新たな魅力的な体験プログラムメニューの開発を検討していただきたい。
周防大島町	高齢化により民泊受け入れ先が減少しつつある中で、広域での連携や新たな受け入れ家庭を確保するための体験プログラム等の提案をしていただきたい。
上関町	離島探索、磯遊び、地引網漁、漁獲体験等、体験プログラムを推進しており、自然体験型プログラムや歴史文化体験プログラムの仕組みづくりを検討しているが、体験型修学旅行の受入体制は整っていない。体験型修学旅行の受入拡充のために、豊かな自然等の地域資源を生かし、広島広域都市圏ならではの新たな体験プログラムを検討していただきたい。
浜田市	受入先と希望団体等との連絡・調整の窓口となる人材を継続的に確保するための仕組みづくりについて検討していただきたい。
出雲市	現在、体験型修学旅行の受け入れは限られている状況にあります。そこで、本市と広島の地域資源を最大限に活用し、学生がフィールドワークなどを通じて学べる体験プログラムを検討し、提案、モデル実施していただきたいと考えています。このプログラムは、地域の魅力を直接感じながら学ぶ機会を提供することを目的としています。また、プログラムを造成しただけでは不十分なため、SNSを効果的に活用し、体験プログラムの魅力を発信することで、広報活動の強化も合わせて検討していただきたい。
邑南町	高齢化により民泊受け入れ先が減少し、受入が困難となっている。体験プログラムの造成を含め、民泊を利用しない形での体験型修学旅行の受入について検討していただきたい。